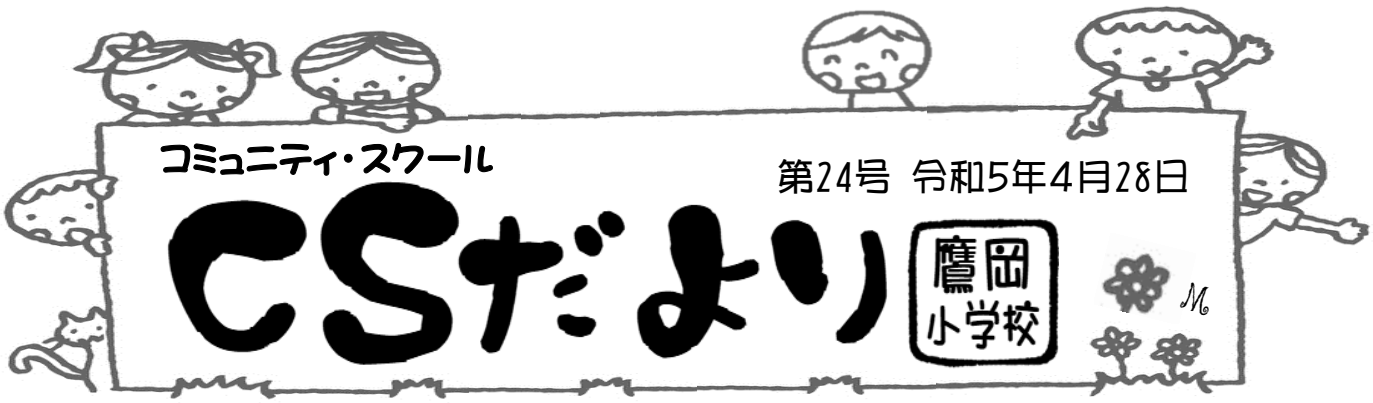


第24号 令和5年4月28日

「CS」とはコミュニティ・スクールの略です。

鷹岡小学校はコミュニティ･スクールです！

鷹岡小学校は、富士市教育委員会の指定を受け、令和元年にコミュニティ･スクール(学校運営協議会制度)としてスタートしました。毎年数校ずつ加わり、現在富士市の小学校全てがコミュニティ･スクールとなりました。今年度は中学校７校が加わりました。

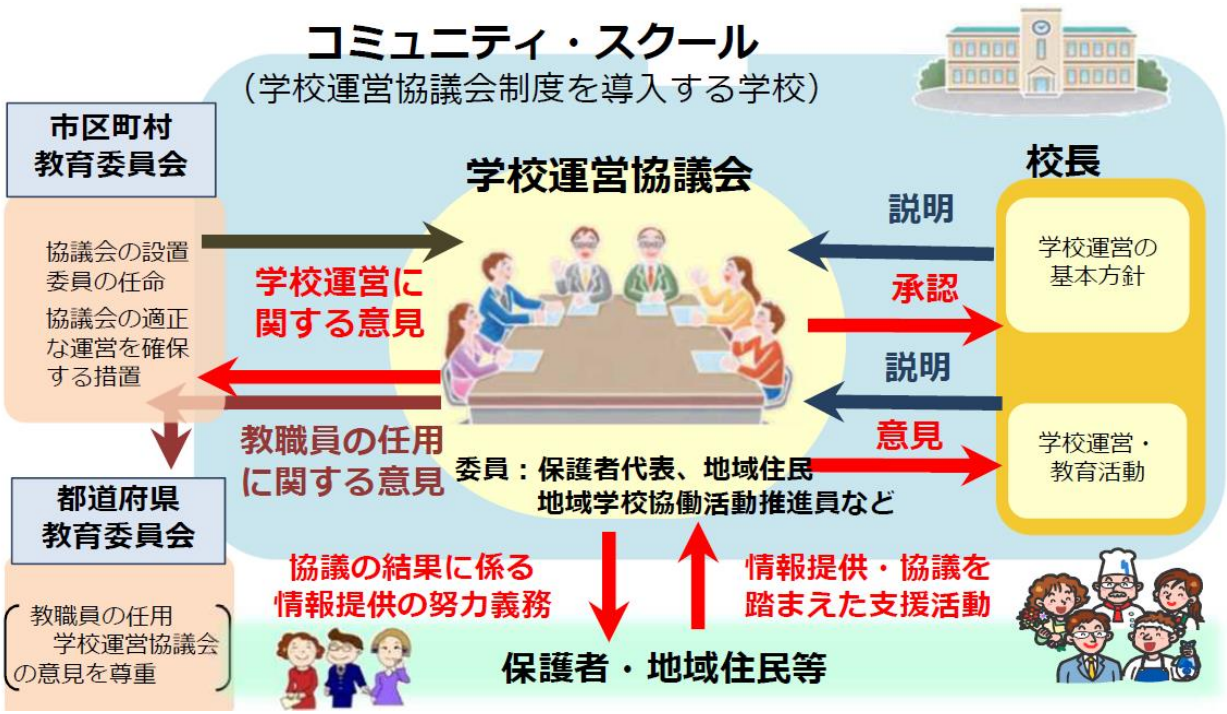
コミュニティ･スクールって何？

コミュニティ･スクールとは、学校運営協議会制度が導入された学校のことです。
学校・地域・保護者が一体となって子供たちのために力を合わせ、学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」を築くための有効な仕組みです。

一見難しそうですが、実は、学校が地域の中心となり、学校教育に関わりのない家庭も巻き込み、みんなが学校に集まっていたような「昔、懐かしい学校」のことなのです。

この制度により、今まで以上に地域の力を生かした鷹岡小学校づくりを進めることができます。

学校運営協議会制度



学校運営協議会とは？

「学校運営協議会」は教育委員会によって学校に設置されます。地域の実情に合わせて委員が選出され、年3回の会議が開かれます。会議では、学校運営への必要な支援や、学校・地域・保護者が協働して取り組む実践的な活動についての協議が行われます。

平たく言えば、学校運営協議会は「コミュニティ･スクールの核」となる組織で、鷹岡小の特色を生かし、学校運営や子供たちへの必要な支援についてプランを立てる作戦本部です。

コミュニティ･スクールってどんなことをするの？

体験をともなう授業の充実、専門的な知識や技能のある方への協力依頼、児童の安全確保のための支援等、地域の皆様に学校へ足を運んでいただく機会や、子供たちが地域へ出かけて行く時間を多くすることで、子供たちと地域や地域の方々とのつながりを増やしていきます。

校外学習時の付き添い、地域での体験活動の場の提供、通学時の安全見守り、野菜栽培の補助など、多くの地域の方々にボランティアとしてご協力いただいています。

CSボランティア募集！

コミュニティ･スクールでは、子供たちの様々な活動体験充実のため、ボランティアの募集をし、お手伝いをお願いしています。ボランティアとして学校に足を運んでいただく機会を増やすことで、学校・地域・保護者がよりよいパートナーとなり、地域全体で子供たちの成長を支えることにつながります。子供たちにとっても、地域との交流や様々な体験や経験の場が増えることで、豊かな人間性や社会性を育み、地域への理解や関心が深まります。

年齢や性別は問いません。ボランティアに関心のある方は、ぜひご協力ください！
お問い合わせは、CSディレクター小山(鷹岡小学校 71-3855)までお願いします。

コミュニティ･スクール ディレクター（CSディレクター）

コミュニティ･スクールの指定を受けた学校には、ＣＳディレクターが配置されます。
学校運営協議会の開催にかかる業務、学校運営上や地域課題の整理業務、学校および地域の相互交流支援、地域人材の把握･支援、関係機関との連絡調整業務、授業や学校行事における児童への支援などの業務にあたります。学校と地域、人と人を結びます。

コミュニティ･スクールとしてのこれから！

1000の地域があれば、1000のコミュニティ･スクールがあると言われており、取組は地域によって様々です。また、成果が出るまでには時間がかかり、最低でも10年は必要だと言われています。まずは、コミュニティ･スクールを地域に広めることから始め、やがて鷹岡の子供たちの成長を、学校と地域で支えていけるコミュニティ･スクールになることを目指します！